

校訓	自分を育て 自分を生かし 社会を明るく	令和7年度学校だより 「天の子」 第11号	発行日	令和8年1月7日
教育目標	夢と誇りのある生徒の育成 ~自ら学び、考え、主体的に行動する、心豊かな生徒の育成~		発行者	伊丹市立天王寺川中学校 校長 永嶺香織

3学期始業式講話

新年あけましておめでとうございます。皆さん元気に登校し、こうして新しい年を迎えたことを心からうれしく思います。

今日から始まる3学期は、1年間の学習や生活をしっかりとまとめ、次の学年や進路に向けて準備を整える大切な学期です。特に3年生にとっては、卒業まで残りわずかとなりました。義務教育のまとめの学期です。学校には最も大きな目標として学校教育目標があります。「夢と誇り」です。この目標を達成するために最終学期である3学期をどう取り組むか、とても重要なことです。

2学期の終業式を迎えるにあたり、学年集会等でそれぞれの学年が2学期にがんばったことや課題として残っていることなどを振り返ったと思います。また、私からは、学習で成果を上げた生徒のお話から、目標を設定して努力することの大切さについてお話をしました。

このような振り返りを活かし3学期をどう過ごすか、考えてください。学習面や健康面、部活動や生徒会活動など、自分の力を伸ばすために何をするのかという「具体的行動目標」を立て、努力をしてください。

さて、新年にあたり、これから社会に必要とされる力についてお話をします。

今、社会は急速に変化しています。昨年、私が使っているパソコンにもAIが導入されました。試しに、学校教育目標のポスターをつくりました。これがAIが作成したポスターです。私は絵が苦手でこんなポスターをつくることができませんが、いくつかの条件を伝えるとAIが作成してくれます。ただ、このポスターが私の思いをすべて表現しているかといえば残念ながらそうではありませんでした。

AIやデジタル技術の発展はめまぐるしいものがあります。これからもどんどん進化していくことでしょう。これからは時代の変化に対応して共に生きていく時代になります。

では、このような時代に必要となる力はどんな力だと思いますか。みなさんで考えてみましょう。そのヒントになるお話をします。

将棋の世界でもAIが活用され、勝負中にどちらが優勢なのか、また、どんな手を打てば勝てるかを予想して示してくれます。将棋の棋士、十七世名人である 谷川浩司（たにがわこうじ）さんという人がいます。中学生で将棋のプロとなり、21歳で名人の位を獲得した人です。この人は、始めはプロとしてAIに抵抗を感じていたそうですが、2017年にAIがプロに圧勝した時に、自分の持つ力の可能性を広げてくれると考え、AIを使って将棋の研究をするようになったそうです。

でも、AIをうのみにはしない。AIはミスが発生しない手を選択し、提示します。でも、時に人が理解しにくい手を示すこともあるそうです。AIが示したとおりに将棋を進めていくことは簡単でしょうが、理解できないものをそのまま取り入れるのは自分の力の向上にはなりません。自分の経験や感性を大切にし、自分が勝負したい手を考えていくことが必要なのです。山登りに例えると、AIは頂上が見えればどんなに急でも道幅が狭くても一直線に登る。人間ならば、遠回りになってしまってもなだらかな道や自分の体力にあった道を選ぶことでし

よう。これが「考える力」です。

AIが身近になった社会で生きるために必要なことは、AIを上手に使えることだけではなく、それを使う人間の「考える力」なのです。使う人間が主体性を持ち、自分で考え、判断し、行動できる力がなくてはならないのです。

いま、学校ではこれから時代を生きるみなさんのための教育が行われています。みんなが様々な学びを通して身につけていることは、このような力なのです。

今年、みんなが、目標に向かって、主体的に取り組み、これから時代に必要な力を伸ばしていく1年にしてくれることを願っています。

令和7年度伊丹市中学校 理科自由研究発表会

令和7年12月26日（金）に伊丹市立総合教育センターで行われました。市内8中学校の代表が自由研究の発表を行い、本校からは2年生のAさんが発表しました。



Aさんは、「猛暑の車で卵は焼けるのか」というテーマで自由研究に取り組みました。夏の外気温や熱によって、物質にどのような変化が起こるのかを知るために、夏の厳しい日差で高温になった自動車の車内で卵が焼けるかを実験しました。フライパン上の卵の変化から、外気温や熱の状況だけではなく卵の成分にも着眼したとても興味深い実験でした。夏の車は、午前9時で50度、時間とともに上昇し、午前10時には車内温度が70度を超えたそうです。夏の車内の危険性についても証明していました。

自らの問題意識に基づいて研究方法を考え、主体的に問題解決に取り組む理科自由研究は、問題解決能力を伸ばし、知的好奇心を深めるために重要です。自分の好きなことを見つけることもできます。みなさんもぜひ身の回りのことに興味をもち、探究してほしいと思います。

伊丹市いじめ防止フォーラム

令和7年12月26日（金）に伊丹市立図書館「ことば蔵」で行われました。小学生、8中学校中学生、市立伊丹高校生が参加しました。本校からはKさん、Kさん、Hさん、Tさんの4名の生徒会役員が参加しました。

フォーラムでは、「SNS等のネット上のいじめの現状と自分たちでこれからできること」をテーマにしてグループに分かれディスカッションをしました。伊丹市のいじめの内容や件数等を参考にしながら討議を行いました。それぞれのグループで出される意見は、生の声だったり、状況をよく把握して考えられた意見だったり、周りで聞いている大人たちも感心しました。



最後に、「学校」「家庭」「地域」それがどんな取り組みをしていくのか、具体的な意見が発表されました。このフォーラムでの学びを各学校でどう活かしていくか、が大切です。生徒会が中心となり、SNSとの付き合い方を含め、安心できる学校をつくるための取り組みを検討していってください。よろしくお願ひします。

天王寺川中学校の取組や子どもたちの様子をホームページに載せています。是非、ご覧ください。

https://www.itami.ed.jp/school/Jrhigh/jr_tenn/index.html
※右のQRコードをお読みいただき、天王寺川中学校のホームページをご覧ください。

